

職業実践専門課程の基本情報について

| | | | | | | |
|---|--|------------------------|----------------|---|---------------------|----------|
| 学 校 名 | | 設置認可年月日 | 校 長 名 | 所 在 地 | | |
| 専門学校広島工学院大学校 | | 平成8年6月28日 | 半 明 英 幸 | 〒731-3166 広島県広島市安佐南区大塚東三丁目2番1号 (電話) 082-848-7780 | | |
| 設 置 者 名 | | 設置認可年月日 | 代 表 者 名 | 所 在 地 | | |
| 学校法人 古沢学園 | | 昭和62年3月17日 | 古 澤 敏 昭 | 〒730-0811 広島県広島市中区中島町9-11 (電話) 082-247-3700 | | |
| 目的 | ネットワーク接続技術者「工事担任者AI・DD総合種」(総務省)の養成認定校として、電気設備工事の基礎から応用まで学び電気工事士・電気通信主任技術者および陸上特殊無線技士等の能力を備えた実践的な電気工事技術者を育成する。 | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 修業年限 (昼、夜別) | 全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数 | 専門士の付与 | 高度専門士の付与 |
| 工業 | 工業専門課程 | 電気・デジタル通信学科 電子工学コース | 2年(昼) | 1,872 時間 | 平成6年文部科学省 告示第84号 | — |
| 教育課程 | 講義 1198.5 時間 | 演習 — 時間 | 実験 — 時間 | 実習 447.0 時間 | 実技 — 時間 | |
| 生徒総定員 | 生徒実数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 80人の内数 | 1人 | 2人 | 1人 | 3人 | | |
| 学期制度 | ■1学期: 4月1日から9月30日 ■2学期: 10月1日から3月31日 | | 成績評価 | ■成績表 有 ■成績評価の基準・方法について 評価方法は絶対評価とする 評価基準 優は80点以上、良は70~79点、 可は60~69点、不可は59点以下 | | |
| 長期休み | ■学年始め: ■夏 季: 7月20日から8月31日まで ■冬 季: 12月26日から1月10日まで ■学年末: 3月29日から4月10日まで | | 卒業・進級条件 | ・出席率90%以上 ・評定に「不可」がないこと ・研修を修了していること | | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制(有り) ■長期欠席者への指導等の対応 電話フォロー、個人面談、保護者面談、 校長面談、補習実施 | | 課外活動 合宿研修 | ■課外活動の種類 江田島研修 三瓶研修 ■サークル活動(無し) | | |
| 主な就職先 | ■主な就職先、業界 中電工・島根電工・四国電工 伍永通信・広島総合警備保障 中国電機製造・ソルコム テンパール工業・日本リーテック 松下電器産業・松下電工 JFE福山・旭日電気工業 ■就職率 100 % | | 主な資格・検定 | 工事担任者AI・DD総合種 第二種電気工事士・第一種電気工事士 第二級陸上特殊無線技士 第三種電気主任技術者 電気通信主任技術者・消防設備士 家電製品エンジニア・家電製品アドバイザー 小型移動式クレーン・高所作業車技能講習 アーク・ガス溶接・小型車両系建設機械 | | |
| 中途退学の現状 | ■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成 27年 4月 1日 在学者 9名(平成 27年 4月 入学者を含む) 平成 28年 3月 31日 在学者 9名(平成 28年 3月 卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 該当者無しのため未記入 ■中退防止のための取組 素行・態度等の変化を早めに察知し、声掛け・面談・家庭連絡を密に実施している。又クラスの状況 学生の状況は職員会議にて共有し、担任1人で抱え込まない体制をとっている。 ※出身校との連携も密に行っている。 | | | | | |
| ホームページ | URL: kogakuin@furusawa.com | | | | | |
| 1. 教育課程の編成 | | | | | | |
| (教育課程の編成における企業との連携に関する基本方針) | | | | | | |
| 電気工事士・電気通信主任技術者および陸上特殊無線技士等の能力を備えた実践的な電気工事技術者を育成するため、電気業界団体、電気工事企業等と連携して、教育課程の編成や教育内容を改善し、より実践的な職業教育を行うための協議・検討をすることを基本方針とする。 | | | | | | |
| (教育課程編成委員会等の全委員の名簿) 平成27年 4月 1日現在 | | | | | | |
| 名 前 | | 所 属 | | | | |
| 東 博 昭 | | 一般社団法人 広島電業協会 事務局長 | | | | |
| 吉 田 稔 三 | | 株式会社 中電工 専任課長 | | | | |
| 難 波 敏 昭 | | 伍永通信 株式会社 | | | | |

| | |
|-------|-----------------------------|
| 山本 將文 | 広島警備保障 株式会社 |
| 半明 英幸 | 広島工学院大学校 校長 |
| 錠本 光照 | 広島工学院大学校 副校長 兼 電気デジタル・通信学科長 |
| 赤木 大作 | 教務部長兼進路指導部長 |
| 細井 憲二 | 電気デジタル・通信学科教員 |

(開催日時)

第1回 平成27年 5月27日 15:00 ~ 16:00

第2回 平成27年 12月15日 15:00 ~ 16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

・校内で実施している授業に加え、職業能力(態度、思考、行動、責任等)および最新の専門知識・技能を習得させることを基本方針とする。

具体的には、電気工事業界の動向を含む最新の実践的な知識・技能を習得させるため、企業からの派遣講師による授業(講義・実習)を受講させ、より実践的な人材(電気工事技術者)を育成する。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|--------|--|-------------|
| 電気実習ⅠA | ・連携企業の研修所において、派遣講師から技能や技術技術についての講義を受け、施設見学および実習を通して電気工事士の実作業に係る知識、技能を習得する。 | (株)中電工 |
| 接続工事技術 | ・連携企業からの派遣講師により電気通信技術や技能についての講義を受け、電気通信工事担任者(AI・DD総合種)の実務に必要な知識、技能を習得する。 | 伍永通信(株) |
| 端末設備技術 | ・連携企業からの派遣講師により、個人宅・事務所・店舗・工場などのセキュリティーに関する情報通信技術や技能についての講義を受け、電気通信工事の実務を習得する。 | 広島総合警備保障(株) |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

・最新技術(技法・作業要領)、関係法令の改正などの習得および指導力を向上させるため、業界団体・企業等が主催の研修を積極的に受講し、自己啓発や情報収集に努め、教育内容(技能・指導力)の質の向上を図ることを基本方針とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 27年 4月 1日現在

| 名前 | 所属 |
|--------|-----------------------------|
| 竹中 光 | 伍永通信 株式会社 |
| 村雲 浩司 | 一般社団法人 広島県自動車整備振興会 |
| 竹内 弘将 | トヨタカローラ広島株式会社 |
| 高島 正明 | 保護者 |
| 小津間 啓之 | 卒業生 |
| 小田 修久 | 卒業生 |
| 半明 英幸 | 広島工学院大学校 校長 |
| 錠本 光照 | 広島工学院大学校 副校長 兼 電気デジタル・通信学科長 |
| 赤木 大作 | 自動車整備科学科長・進路指導部長 |
| 細井 憲二 | 電気デジタル・通信学科教員 |

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: kogakuin@furusawa.com

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: kogakuin@furusawa.com